

平成29年度 医療事故等行為別件数及び障害区分レベル4・5の概要

(1) 医療事故等 行為別件数

平成29年度	レベル	インシデント			
		0	1	2	計
薬剤		161	587	30	778
輸血		5	11	0	16
治療・処置		32	45	25	102
医療機器等		25	35	3	63
ドレーンチューブ		14	148	70	232
検査		168	156	77	401
療養上の世話		200	770	190	1160
その他		201	219	17	437
計		806	1971	412	3189

アクシデント			
3	4	5	計
6	0	0	6
0	0	0	0
13	0	1	14
1	0	0	1
7	0	0	7
3	0	0	3
22	0	0	22
2	1	0	3
54	1	1	56

合計 3245

障害区分(レベル)	内 容	
インシデント	レベル0	事故が起こる前に気がついた場合
	レベル1	事故が起こったが、影響がなかった場合
	レベル2	事故により、軽微な処置・治療(消毒, 湿布, 鎮痛剤投与など)を要した場合
アクシデント	レベル3	事故により、処置・治療を要したが、永続的な障害が残らなかった場合
	レベル4	事故により、永続的な障害が残った場合
	レベル5	事故による死亡

(2) 医療事故 障害区分レベル4・5の概要

NO.	レベル	事例の概要および対応	
1	4	概要	胸部大動脈解離: 突然の胸背部痛を自覚し救急外来受診した。受診時症状は消失しており、胸部大動脈解離の可能性も疑い必要な検査を施行したが確定診断には至らなかった。その結果、対症薬処方し自宅での療養とした。同日腰痛、下肢痛が出現したため救急搬送された。
		対応	痛みの性状等問診を十分に行うと共に、患者・家族へ症状再出現時の対応方法について十分な説明を行う。
2	5	概要	糖尿病・腎不全: 食欲不振・脱水・腎不全で緊急入院した高齢患者。全身状態不良であり欠食・補液で管理を行っていた。I型糖尿病の情報共有不足があり、インスリン投与が遅れ高血糖状態となった。その後インスリンを投与し血糖値は改善を認めたが、腎不全が進行し死亡した。
		対応	患者情報の共有を徹底し、より緊密な連携を図る。

* 公表については個人情報保護に配慮した内容にしています。